

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
SS情報	必修	2	2	普通科

科目の概要	社会の進歩にともない、情報の記録や伝達の方法の変化はどんどん変わり発達している。そのような社会の中で生活をしていくために、情報機器・技術への理解や、変化に対応できる情報処理能力が必要で、その中でも中心を担っているコンピュータやネットワークについては特に深い理解が必要と考えられる。授業では、日常的に利用することの多いソフト「Microsoft Excel・Word・PowerPoint」の活用方法を学ぶ。Excelについては、数学Ⅰの「データの分析」とも連動し、統計に繋がる知識も含めて学習する。さらに情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解し、情報化社会におけるモラルやマナーについて学習する。以上のような活動を通じて、情報を有効に活用し、自ら情報を発信できる能力を身につけることを目的とする。				
教材名	教科書	最新情報の科学（実教出版）			
	副教材	30時間でマスター Word&Excel 2013（実教出版）			
学習到達目標	(1)Windowsコンピュータと、Microsoftの各種ソフトの基本的な操作方法を身につける。 また、統計処理などの実例に触れ、その扱い方を身につける。 (2)電子メールやインターネット検索など、ネットを利用した活動における基本的な操作方法や対処方法を身につける。 (3)ネットワークを利用した情報の活用方法や、情報化社会におけるモラルやマナーを理解し情報を取捨選択する能力や、自ら情報を発信する能力を身につける。				
学習方法	(1)実習を取り入れた授業では、積極的に参画すること。 (2)説明を聞く、考える、自ら活動するなど、そのときに応じて何をするべきか認識し、メリハリを付けて授業に参画すること。 (3)毎回の授業で感じた疑問点や問題点について解決の方法を考えるとともに、身につけた技能や知識は日常生活の中で積極的に活用すること。				
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	情報処理技能	知識・理解
	評価方法	授業態度、実習への取り組み、レポートや課題の提出状況など 学習到達目標(1)(3)	小テスト、板書の内容、レポートの内容など 学習到達目標全て	小テスト、レポートの内容など 学習到達目標(1)	板書の内容、レポートのテーマ選択、内容など 学習到達目標(2)
	S	授業のみならず、情報社会についての理解を深め、それを活かして授業に参加し、自らの生活に役立てることができる。	情報を活用する方法の工夫や改善について積極的に試み、モラルを踏まえたより良い判断をし、十分に表現することができる。	課題の条件を高いレベルでクリアし、さらに伝わりやすさなどの多角的な視点で考えた情報処理を行うことができる。	情報活用のための高度な知識を身に付け、現代社会における情報の意義や自らの社会的参画の役割を理解できる。
	A	実習や座学など、様々な授業の特質を理解し、積極的に授業に参加することができる。	情報を活用する方法の工夫に努め、モラルを踏まえた判断、表現ができる。	情報を適切に処理し、課題の条件をクリアすることができる。	情報活用のための標準的な知識を身に付け、現代社会における情報の意義や役割を理解できる。
	B	それぞれの授業に参加し、意欲的な活動がみられる。課題提出がきちんとされている。	情報活用の方法を理解し、一定程度の適切な判断、表現ができています。	一定程度課題をクリアしている。	情報活用のための知識、情報の意義がある程度理解できている。
	C	授業への意欲的な参加が見受けられない、課題提出などが十分でない。	判断するための理解が足りない、適切な表現ができていない。	課題をクリアできていない、あるいは提出していない	情報活用のための知識、情報の意義が理解できていない。

年間学習計画

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	オリエンテーション 序章	情報化社会への心構えを合わせて教える。	1 1	小テスト① 相関係数レポート課題 夏休みレポート課題
5	Excelの使い方	Excelの基本的な使い方を理解する。	6	
6	Excelの応用	Excelの関数や応用的な処理について理解する。	11	
7	統計解析の基礎知識を学ぶ	身近なデータを題材に、統計解析の基礎知識を理解し、課題を解析する。	5	
8	(続き)		2	板書点検 アルゴリズム課題 冬休みレポート課題
9	第1章	情報機器や理論の歴史、デジタルとは何か、という基本的な情報学や、コンピュータの仕組みについて理解を深める。	8	
10	第2章	ネットワークの仕組みや、セキュリティなど、普段自分の周りにあるものについての正しい理解を深める。	5	
11	第3章	問題解決とアルゴリズム、シミュレーションについての基礎知識を身に付ける。	6	
12	Wordの使い方	Wordの基本的な使い方や、ビジネス文書の定型を作るなどの実習を進めて、使いこなす能力を育てる。	5	
1	Word実習	モデル化とシミュレーションの基礎知識を理解する。	4	小テスト② 板書点検 パワーポイント課題
2	第4章	ネットワークやデータベースの活用について、理解を深める。	3	
	第5章	これからの情報化社会を築いていくための心構えや共通認識の理解に努める。	5	
3	Powerpointの使い方	Powerpointの基本的な使い方を習得し、自分の考えることが適切に表現できるように技能を身に付ける。	5	

科目名	必修/選択	単位数	学 年	学科・類型
情報活用	選択	2	3	普通科 文型

科目の概要	社会の進歩にともない、情報の記録や伝達の方法の変化はどんどん変わり、発達している。そのような社会の中で生活をしていくために、情報機器・技術への理解や、変化に対応できる情報処理能力が必要で、その中でも中心を担っているコンピュータやネットワークについては特に深い理解が必要と考えられる。授業では、2年生で行ったコンピュータの実習よりもさらに実務に応用できるような教材を取り上げ、社会に出て即戦力となるような技能を身に着けることを目標とする。さらに情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解し、情報化社会におけるモラルやマナーについて学習する。以上のような活動を通じて、情報を有効に活用し、自ら情報を発信できる能力を身につけることを目的とする。				
	教科書				
教材名	副教材				
学習到達目標		(1) Windows搭載のコンピュータと、Microsoftの各種ソフトの高度なスキルを要する実習をこなすことができるようにする。 (2) ネットワークを利用した情報の活用方法や、情報化社会におけるモラルやマナーを理解し、情報を取捨選択する能力や、自ら情報を発信する能力を身につける。			
学習方法		(1) 実習を取り入れた授業が多くなるので、自ら目標を立てて、積極的に参画すること。 (2) 説明を聞く、考える、自ら活動するなど、そのときに応じて何をすべきか認識し、メリハリを付けて授業に参画すること。 (3) 毎回の授業で感じた疑問点や問題点について解決の方法を考えるとともに、身につけた技能や知識は日常生活の中で積極的に活用すること。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	情報処理技能	知識・理解
	評価方法	授業態度、実習への取り組み、レポートや課題の提出状況など 学習到達目標(1)(3)	小テスト、板書の内容、レポートの内容など 学習到達目標全て	小テスト、レポートの内容など 学習到達目標(1)	板書の内容、レポートのテーマ選択、内容など 学習到達目標(2)
	S	授業のみならず、情報社会についての理解を深め、それを活かして授業に参加し、自らの生活に役立てることができる。	情報を活用する方法の工夫や改善について積極的に試み、モラルを踏まえたより良い判断をし、十分に表現することができる。	課題の条件を高いレベルでクリアし、さらに伝わりやすさなどの多角的な視点で考えた情報処理を行うことができる。	情報活用のための高度な知識を身に付け、現代社会における情報の意義や自らの社会的参画の役割を理解できる。
	A	実習や座学など、様々な授業の特質を理解し、積極的に授業に参加することができる。	情報を活用する方法の工夫に努め、モラルを踏まえた判断、表現ができる。	情報を適切に処理し、課題の条件をクリアすることができる。	情報活用のための標準的な知識を身に付け、現代社会における情報の意義や役割を理解できる。
	B	それぞれの授業に参加し、意欲的な活動がみられる。課題提出がきちんとされている。	情報活用の方法を理解し、一定程度の適切な判断、表現ができています。	一定程度課題をクリアしている。	情報活用のための知識、情報の意義がある程度理解できている。
	C	授業への意欲的な参加が見受けられない、課題提出などが十分でない。	判断するための理解が足りない、適切な表現ができていない。	課題をクリアできていない、あるいは提出していない	情報活用のための知識、情報の意義が理解できていない。

年 間 学 習 計 画

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	オリエンテーション	情報化社会への心構えを合わせて教える。	1	
	日本語ワープロ検定実習	実務的な文書の作り方を含め、あらゆる利用に対応できるように各種検定練習問題を取り入れて技術の習得を図る。	10	小テスト①
5	文書デザイン検定実習		15	小テスト②
6				夏休みレポート課題
7				
8	情報処理技能検定 (表計算) 実習	難易度の高い情報処理の能力を身に着ける。	14	小テスト③
9				
10	ホームページ作成検定実習	ホームページ (HTML) の仕組みや構造を理解しページの構築ができるようになる。	10	小テスト④
11				※特別授業中の情報はまた内容が異なる